

交通バリアフリー技術規格調査研究
(視覚障害者誘導用ブロックに関する調査研究)

報告書

平成21年3月

国土交通省

目 次

1. 調査研究の目的	1
2. 検討項目	1
2.1 広い通路等において一般利用者の動線と線状ブロックとが交錯する場合	2
2.2 直角敷設と斜め敷設	2
2.3 階段等における敷設方法	3
2.4 車いす、ベビーカー等の通行に配慮した線状ブロックの敷設方法	4
2.5 エスカレーターへの誘導	4
2.6 ホームドア・可動式ホーム柵の設置に伴う視覚障害者誘導用ブロックの敷設方法	5
3. 検討方法	6
3.1 ワーキンググループにおける検討	6
3.2 調査による検討	6
4. 調査の結果と課題（論点）の整理	19
4.1 広い通路等において一般利用者の動線と線状ブロックとが交錯する場合	19
4.2 直角敷設と斜め敷設	29
4.3 階段等における敷設方法	39
4.4 車いす、ベビーカー等の通行に配慮した線状ブロックの敷設方法	49
4.5 エスカレーターへの誘導	56
4.6 ホームドア・可動式ホーム柵の設置に伴う視覚障害者誘導用ブロックの敷設方法	60
5. おわりに	71
5.1 今後の検討課題	71
5.2 その他の検討課題	72

<参考資料>

視覚障害者誘導用ブロック敷設実態調査（写真）

交通バリアフリー技術規格調査研究
(視覚障害者誘導用ブロックに関する調査研究)
報告書

平成 21 年 3 月発行
国土交通省総合政策局安心生活政策課
〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-3
電話：03-5253-8111 (代表)
FAX：03-5253-1552
